

2022年10月

海外安全対策情報

1 治安情勢と一般犯罪の傾向

現在、シカゴ市内の治安情勢は悪化傾向にあります。シカゴ市警察の発表によると、10月9日現在まで同市における主要犯罪(殺人、強姦、強盗、重傷害、侵入窃盗、窃盗、自動車窃盗等)の発生件数は合計4万7,729件(前年同時期比で約38%増加)となるなど、引き続き過去5年間で最悪の数字となっております。

罪種別では、強盗+17%、侵入窃盗+23%、窃盗61%、自動車窃盗+76%となっており、特に**窃盗、自動車窃盗等の増加が顕著**となっております。また、銃の発砲事件は減少傾向であるものの、毎日のように各地で銃による犯罪が報道されており、今まで比較的治安の良いとされていたシカゴ市中心部、北部郊外においても治安の悪化が懸念されています(本年にも市中心部のミレニウム・パーク、シカゴ市北部のハイランドパーク市などにおいて銃撃事件が発生しております)。

シカゴ市内における主要犯罪の発生数(前年同月比)

	2022年10月	2021年10月
殺人	528件 (-18%)	646件
強姦	1591件 (-1%)	1611件
強盗	6586件 (+17%)	5633件
重傷害	4665件 (-7%)	5041件
侵入窃盗	5746件 (+23%)	4675件
窃盗	1万5197件 (+61%)	9443件
自動車窃盗等	1万3416件 (+76%)	7627件
総数	4万7729件 (+38%)	3万4676件

* 赤字は増加を示す。

シカゴ市と同様に各州の主要都市(ウィスコンシン州ミルウォーキー、ミズーリ州セントルイス、スプリングフィールド、カンザスシティ、イリノイ州ロックフォード等他多数)でも、危険とされる地域への立ち入りは控えるようにして下さい。また、安全とされる地域においても、深夜の外出を控え、人通りの少ない場所を避け、交通量の多い大通りを選んで移動するなど犯罪に巻き込まれないための自衛策が必要です。

●電話や電子メールによる詐欺

治安機関や金融機関の職員を語り、現金を騙しとろうとする詐欺事件が発生しています。警察等の治安機関や社会保障局といった組織が電話で現金の支払い要求をすることは有り得ません。そのような電話は詐欺である可能性が極めて高く、安易に個人情報等を教えないようご注意ください。また、クレジットカード情報やアカウント情報等といった重要な個人情報を盗み出すフィッシング詐欺事案も発生していますので、ご注意ください。

詳細については、当館ホームページをご覧ください。

【注意喚起】電話や電子メールによる詐欺被害にあわないために

<https://www.chicago.us.emb-japan.go.jp/files/100176976.pdf>

(2021年4月15日付)

2 犯罪傾向について

シカゴ市警が発表している、シカゴ中心部で発生している犯罪の特徴は以下の通りです。

- レストランやカフェで食事中、スマートフォンをテーブルに置いたままトイレに行き、その間にスマートフォンを盗まれる。
- 見知らぬ人に話しかけられ、答えている間に他の仲間がスリを行う（主に若い黒人男性が使う手口）
- 人が多いエレベーターや回転扉で自分の降りる階や順番に気を取られている間にスリの被害に遭う。
- トイレの個室を使用中、個室のフックに掛けたバッグ等を個室外側から手を入れられて盗まれる。
- ライドシェアを装い、夜間酔っ払いに近づいて乗車させ、クレジットカード等を盗む（使われる車は偽造したライドシェアのステッカーが貼られたりして本物と間違いやすくなっている）
- 多数の若者が街を徘徊しながら歩行者を襲撃して金品を奪う。

《シカゴ警察から犯罪被害に遭わないためのアドバイス》

- カバンを持つときはたすき掛けにせず、利き手と反対側の肩に掛けて持つ。（たすき掛けにすると引き倒されて負傷する恐れがある。利き手の反対側の肩に掛けるのは利き手で攻撃に対する防御が出来る可能性があるため。但し犯人は武器を持っている可能性があるので原則抵抗はしない。）
- 電車やバスの座席に座る場合は荷物を自分の前に置く。
- 公共の場所で金品やスマートフォンを見せたり、使用しない。
- ヘッドフォンやイヤフォンを装着したまま歩いたり、スマートフォンを

使用しながら移動しない。

- 車両、人通りが多い道を使用する。
- 車の運転手から声を掛けられたり、嫌がらせを受けた時は逆方向に立ち去る。
- 外出する際は行き先、ルート、帰宅時間等を家族に伝えておく。
- 財布は後ろのポケットに入れず、前のポケットに入れる。
- 高級ブランド品、高価な宝飾品を持ち歩かない。
- 知らない人に自分の個人情報、家族等の情報を言わない。
- 家の鍵、車の鍵、財布をそれぞれ別に持つ。同じバッグに入れていると全て同時に盗まれる可能性がある。
- エレベーターに乗る時、不審な人物が乗っていたら同乗しない。
- 周囲に注意を払い、誰かにつけられていないかを確認する。つけられていると感じたときは、人通りの多い場所や近くの商店に入る。
- 車両を駐車する際は、明るい場所を選んで駐車する。
- 車内に荷物等を置く場合は、外から見えないトランク内に保管する。
- ガソリンスタンドで給油する際はエンジンキーから鍵を抜くこと。また、車内に貴重品を置いたまま、車外へ出ないようにすること。

3 アジア系市民に対するヘイトクライム・ハラスメントの増加

全米において、引き続きアジア系市民に対するヘイトクライムやハラスメントが発生しています。在留邦人の方が当事者となるケースも確認されています。今後も根拠のない情報に基づいた個人的偏見によるヘイトクライムやハラスメントがアジア系市民に向けられる可能性があることから、未然に危険を回避し、ご自身の安全を守る行動を取るよう、十分注意してください。

一般的な安全対策と同様、以下の点に注意し、ご自身の安全を守る行動を優先するように心掛けてください。

- 暴力被害に遭う恐れを少しでも感じた場合には、すみやかに現場から離れる。
- 見知らぬ者から注意を引くような言動をされても、相手にしない。
- 車両から声かけや嫌がらせを受けた場合は、車両と反対方向に立ち去る。
- 身の危険を感じたら、大声で周囲に助けを求める。
- 深夜の一人歩き等危険を招きやすい行動は可能な限り避け、なるべく複数名で行動する。
- 相手を不必要に刺激しない。

万が一、ヘイトクライム等の被害に遭った場合には、警察（911番）に通報して頂くとともに、当館にもご連絡をお願いいたします。

シカゴ市ヘイトクライム通報窓口

Chicago Commission on Human Relations (CCHR)

312-744-4874 312-744-2571

https://www.chicago.gov/city/en/depts/cchr/supp_info/assistance_for_hatecrimev

[ictims.html](#)